

10月から新しい看護師さんが着任しました!

10月1日から4ヶ月間、朝日診療所で勤務していただく会津中央病院看護師の渡部直人さんです。渡部さんは高校時代、金山町の川口高校で野球部に所属し、1年生キャッチャーとして活躍されました。そのときバッテリーを組んでいた3年生の先輩ピッチャーが高校卒業後、救急救命士の資格を取得し消防士として活躍する姿を見て自分も医療の道を目指し、現在は医療の現場で先輩と連携しているそうです。「只見町では、多くの患者さんと触れ合いたい」と話す渡部さんをどうぞ宜しくお願いいたします。



渡部 直人さん
(出身/会津若松市)

広報ただみ診療所

朝日診療所
所長 若山 隆



「インフルエンザワクチンの状況」

今年もだんだんと冬が近づいてまいりました。今回はインフルエンザワクチンについて皆さまにご報告があります。

すでにご存じの方もおられるかもしれませんが、今年度のインフルエンザワクチンの製造が遅れているようです。理由を説明しますと、実はインフルエンザウイルスにもたくさんの種類があり、毎年流行する種類が異なっています。流行しそうなインフルエンザの種類を国の機関が予想して、それに対するワクチンを製造し始めますが、今年はその途中で急遽ワクチンの種類を変更することになり、製造に遅れがでているそうです。最終的なワクチン製造量については、昨年度使用量におよそ4%足りない程度だそうで、各医療機関で無駄がでないように注意して利用すれば、最終的には皆さまにワクチンを提供できると考えております。

しかし、製造が遅れていますので、その分例年よりワクチン接種の時期が遅れてしまいます。例年は11月に実施できていた保健福祉センターでの集団接種も遅れてしまいます。11月は優先的にワクチン接種が必要な方(子供、妊婦、介護を受けているような虚弱な高齢者、心臓や肺に病気を持っている方)に接種をしたいと考えています。現在のワクチン入荷状況では、優先的にワクチンを必要とする方以外に対しては、11月中はワクチン接種ができない見込みです。12月以降、ワクチンが十分に届き次第、皆さまにワクチン接種を開始させていただく予定となっています。

12月に集団接種ができるかどうか?できるとしたらいつになるか?また診療所での個別のワクチン接種予約開始時期についても、改めてなんらかの方法でご報告させていただきます。非常にあわただしくなるかと思いますが、ご容赦ください。

地域おこし協力隊として 只見町空き家活用促進隊

vol.36

大竹 友香



「豊かな只見、『住まう』家」

明和振興センターで「空き家バンク」の運営や移住定住等のお仕事を担当しています、大竹友香です。

福岡から只見へ越してきて、早いもので半年になろうとしています。春～夏～秋と只見を過ごし、福岡と比べ1ヵ月ほど、春は後戻り、秋は先を行く気候のように感じています。3シーズンを暮らしてみても、自然豊かで贅沢な只見に、たくさんの方に来てもらいたいと感じています。

今年3月に町HPで全国に向け発信を始めた

「空き家バンク」には問合せもあり、U、Iターンや町在住で独立したい方などへぜひ住んでいただきたいところなのですが、登録件数が少ないことが課題のひとつです。人口が減っていく一方の只見町において、深い雪にも耐えてきた今後も『住まう』ことのできる「空き家」は、町にとって大事な資源です。

人の賑わう只見町、先祖代々から受け継いできた家が住み継がれていくこと。こうしたことに繋がることに日々、取り組んでいきたいと思っています。

今後とも、どうぞよろしく願いいたします。